

<p align="center">アントレプレナーシップ修了論文演習 I Advanced Seminar on Entrepreneurship I</p>	<p>(教員名) 新藤 晴臣、近 勝彦、小関 珠音</p>	
<p>アントレプレナーシップ研究分野 探究科目</p>	<p align="center">演習科目</p>	<p align="center">必修</p>
	<p align="center">2 単位</p>	<p align="center">2018 年度・前期</p>
<p>I 科目の主題 アントレプレナーシップ修了論文演習では、修了論文を作成するための研究指導を行う。当研究分野では、アントレプレナーシップに関する論文と、事業計画書（ないしは創業支援企画書）を、ともに修了論文と位置付けており、学生は最終的にいずれかを修了論文として提出する。</p>		
<p>II 授業の到達目標 論文を作成する学生は、修了論文演習 I において、事実認識に基づく論理的思考力、実態や論点を把握し、研究テーマや仮説を設定する論文構想力、問題を解明するための論理的展開力を身に付けるとともに、実態把握や実証的検証に必要な方法を検討し、実施することを目的とする。 事業計画書等を作成する学生は、修了論文演習 I において、客観的事実に基づく実態や課題の把握、課題を解決するための事業構想力や展開力を身に付けるとともに、実態把握や実証的検証に必要な方法を検討し、実施することを目的とする。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画 アントレプレナーシップ修了論文演習はゼミ形式を基本とし、学生は指導教員別のゼミに分属し、研究を進める。修了論文演習 I は学生が取り組む論文のテーマや事業の特性、希望等を勘案し、グループ指導と個別指導を組み合わせた形で行われ、学生による発表や報告、ディスカッションを中心に進められる。 論文作成者は期初に、研究テーマや目的、研究方法や実施予定等を記載した研究計画書を提出し、各ゼミにおいて、内容の明確化や妥当性の検討、必要な資料や文献の収集等を行う。研究計画書は見直しの上、期末に再度提出する他、後日、アントレプレナーシップ研究分野内で、論文の概略や進捗状況に関する報告を行う。</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容 事業計画書作成者は期初に、事業計画書等作成に当たっての課題や強化すべき点、その具体的方策等を記載した研究計画書を提出し、各ゼミにおいて内容の妥当性や優先順位等を検討の上、これを実施する。見直した研究計画書は期末に再度提出し、後日、アントレプレナーシップ研究分野内で、進捗や成果を発表する。</p>		
<p>V 評価方法 平常点ならびに提出された研究計画書の内容により評価する。 平常点については、ゼミへの出席、発表や報告の内容、発言等による貢献度の観点から、研究計画書については、各項目の論理性や妥当性、計画の実施状況、向上の度合い、努力等の観点から、それぞれ 50 点満点で評価を行う。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント 学生は研究内容や日程について教員と充分協議した上で研究計画書を定め、積極的に研究に取り組むこと。</p>		
<p>VII 教材 特になし。</p>		